

平成30年度第2回社会教育委員会議定例会（第30期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	平成30年度第2回社会教育委員会議定例会（第30期）		
開催日時	平成30年7月11日（水曜日）午後3時30分～午後5時		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター610大会議室		
出席状況	委員	10人：今宮委員、大澤委員、尾辻委員、齋藤委員、長谷部委員、秦委員、濱田委員、丸田委員、水口委員、三好委員	
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流担当係長、同担当1人 学び交流担当（259-6104）	
	関係各課	6人：文化スポーツ部長、図書・学び交流課長、文化振興課政策調整担当係長、こども部こども・青少年課活動推進担当係長、渋谷学習センター社会教育主事有資格者	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由			
審議又は検討経過 及び結果	<p>1 会議次第 協議事項</p> <p>1) 点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分）</p> <p>2) 平成30年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3) 平成30年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4) 家庭教育支援に関する事業について</p> <p>その他</p> <p>2 審議及び結果 主な内容は次のとおり</p> <p>&lt;開会&gt;</p> <p>&lt;事務局から配布資料の確認&gt;</p> <p>&lt;議長あいさつ&gt;</p> <p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>「1）点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分）」について、担当課より説明。</p> <p>（議長）担当課からの平成29年度の事業説明に対し、質問等があればお願いしたい。</p> <p>（委員）平成29年度全体を見たときの印象としてはどうか。</p> <p>（市）桜丘学習センターが平成29年9月から閉館していたため、各指標における数字で表現している部分、実施回数などが少なくなっている印象がある。</p> <p>（委員）桜丘学習センターの閉館が無ければ、これまでどおりということか。</p> <p>（市）そのとおり。</p> <p>（委員）学習センターまつりの参加団体数について、5館合計の中には生涯学習センターも入るか。</p> <p>生涯学習センターと桜丘学習センターと林間学習センターとつ</p>		

きみ野学習センターの他はどこか。

( 市 ) 渋谷学習センターである。

( 委員 ) 渋谷学習センターまで含めた5館ということか。

この平成29年度までの数値は参加団体数か。それであれば、もっと詳しく、どのような団体が学習センターまつりに参加し、何名の参加があったかを詳しく記載してもよいと考える。

平成30年は林間学習センターが閉館するが、学習センターまつりは行われるか。

( 市 ) 林間学習センターについては平成30年7月に閉館し、8月から新しい施設が北部にオープンする。学習センターまつりについても引き継ぐ予定であり、5館であることに変更はない。今年度の林間学習センターまつりから、指定管理者が行う予定である。学習センターまつりの実績について、記載方法等は検討する。

( 議長 ) 他にご意見はないか。

生涯各期に合わせた学習機会の提供の中で、乳幼児期事業の今後の課題について、乳幼児期を対象とした学習団体の自主事業への参加者数が大幅に減少し、これは生涯学習センターに乳幼児期事業を行いやすい保育室が無くなったことが主な原因と記載がある。そうしたとき、指定管理者の運営する建物内には子育て支援施設があるため、各施設の連携により、解消されるだろうとの記載があるが、その点はどうか。

( 市 ) 平成28年11月にシリウスがオープンし、旧生涯学習センターは8月まで開館していた。

旧生涯学習センターには保育室があったが、事業実施回数は減っている。シリウス6階の新生涯学習センターについては保育室が無く、その機能については3階の屋内こども広場に移り、数多くの事業が行われている。この屋内こども広場はこども部の所管であり、生涯学習センターの事業ではないため、数値として本計画には掲載されず、生涯学習センターの事業については減った印象はあるが、3階においては数多くの乳幼児に対する事業が行われている。現在の生涯学習計画は平成30年度いっぱいの計画であるが、次期計画ではそこを見計らった上での数値を計上していく予定である。

( 議長 ) 市民の立場でみると、数字として減って見えてしまうが、内容としては事業が行われているということで、ここからは見分けが付きにくいので、なかなか難しいと感じる。

他に何かあれば、お願いしたい。

( 委員 ) 事前に送付いただいた資料を読んだ中で、個別目標1-(1)生涯各期に合わせた学習機会の提供について、乳幼児期、青少年期の今後の課題について、それぞれどのような特徴があったのか。また、行政は非常に一生懸命やっている。市で企画した事業は目標が達成されている中で、課題は学習団体への働きかけの中で、その事業が目標に達していない。何が原因なのか、団体が少ないのか、意識が高まっていないのか、どのような部分に課題があると考えているか教えてほしい。

- ( 市 ) ここには、学習センターが事業に関わった数値として現れるが、学習団体を見たとき、必ずしも学習団体に関わって事業が展開されているわけではなく、自主的に行われている事業も数多くあり、数値として把握しきれないのも事実である。  
事業としては、かなりの数が行われていると考えられる。
- ( 委員 ) ここに数字としてカウントできないものか、青少年期などは学習団体による事業数が1事業と記載されているが、本当はもう少しあるということか。ここに載せる、載せないなどの区別はあるのか。
- ( 市 ) 事業の実施については団体からの申し出により把握しているため、市で団体の事業計画の情報をつかみ、対応できるものは事業として対応できるが、事前に情報が無いことや、団体独自で動いていることもあり、学習センターで関わる必要が無いということがある。
- ( 委員 ) 団体が自立して活動しているということか。
- ( 市 ) そのとおり。
- ( 委員 ) 市の方で企画された事業は目標が達成されているが、学習団体で企画された事業は、実施されているが数字に表れていないためB評価やC評価等になっているという部分について理解した。
- ( 市 ) 前段の質問で、生涯各期で特徴があるかどうかについて、乳幼児期については需要が高いことから事業数が多くなっている。また、青少年期について、今後の課題に記載のあるとおり会員と年齢層が近いことで、教わることを控えていることなどが原因ではないかと考えている。
- ( 議長 ) 生涯学習情報の提供及び学習相談の実施の部分について、今後の社会教育主事の配置人数などが気になる部分であり、平成30年度以降はどのようになるか。
- ( 市 ) 平成31年4月から3つの学習センター、つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センターについて指定管理となる。また、学習センターに市が配置している社会教育指導員の配置については指定管理が始まるまでの期間の配置となる。  
社会教育主事は教育委員会から発令された者である必要があるが、国の方では社会教育主事の講習を履修した者を、社会教育士と称し、活動に取り組むことができるとされた。  
来年度は各館に最低1人、公務員ではないため社会教育主事とは呼べないが、同等のスキルを持った職員を配置いただきたいと考えている。また、我々としても、教育委員会の事務局内に社会教育主事を配置してほしいと要望は出しているところである。
- ( 委員 ) 市町村の教育委員会の事務局に社会教育主事を置くということは社会教育法第9条の2に残っており、置かなければならないことについて、行政でどのように考えているのか。
- ( 市 ) 社会教育主事の確保については、人数の大小はあるが補助執行を行う中で社会教育主事を確保していく必要があると考えている。また、最近の報道や国の会議等でも図書館や公民館の位置付けを市長部局へという流れも注視していく必要がある。

図書学び交流課はこのまま残っていくこととなると思うが、社会教育主事がゼロになることは無いと考えている。

(議長)他に何かないか。

(委員)成果を計る主な指標の中の、アンケートによって把握する参加者の満足度について書かれている。平成29年度に実施した事業の満足度が90%を超え高いものとなっており、講座数はもちろん大事ではあるが、人口が大きく増えるわけではない中で参加者数を増やしていくこと難しいが、参加者の満足度が高い点はもっと評価してよいのではないかと考える。

また、絵本を配布した4か月健診受診者の割合も非常に高く、地道な活動が数値に表れていると考える。

(市)ありがとうございます。特に、アンケート内容について確認する中で、アンケートは参加者ほとんどの方に記入いただいており、評価も「良かった」と記載する方が多い印象である。

実績については指標に濃淡が出しにくい部分もあるが、そのようなご意見をいただきうれしく思います。

(委員)施設の整備と充実の部分について、つる舞の里と郷土民家園について、計画を策定した時にその年の人数をベースに平成30年度の最終目標値を決めだという手法だと思うが、その中でつる舞の里について平成27年と平成28年と比較し、約1,000人入館者数を伸ばすことができている。この年にはどのようなことがあったのか。

(市)つる舞の里資料館では企画展を行っており、この年は鉄道の企画展でミニゲージの展示を行った。子どもにも楽しめる内容となっており、人を呼び込む内容を検討し、入館者数が増えたということがある。

(委員)そこが大事だと考える。市民の方の興味がどこにあるか、企画・検討していくこと。結果としてだめだったとしても結果論であって、その気持ちを常に持つことが大事だと考える。

(市)平成28年度については、以前より来館者の検証を行っていく中で、仕組み、仕掛けが必要だと考える中で、小さいお子様連れでも楽しめる内容を企画し、結果が数値として表れた。

これらの場所にはウォーキングをして訪れる方もいらっしゃる。

(委員)常に同じ人数であれば、変化がない。アクセントをつけて増やしていく手法を考えていくことが重要である。

(委員)3館はすべて指定管理が導入されているか。市で運営している館が閉まっていることが多い印象があるがどうか。

(市)指定管理は郷土民家園のみである。市の直営は月曜に休館しているので、その違いかもしれない。

(委員)のぼりを立てるなどのPRはできないか。

(市)派手なものは周りの景観とのバランスもあり難しい。

(議長)他に何かないか。

(委員)学習センターの情報提供や学習相談による支援について、成果を計る指標の施設情報検索を含めた学習情報収集コーナーの利用件数が大幅に減少している。理由としては桜丘学習センターの閉

館期間があることについて記載されている。今後の課題の2番目に、理由はそれだけではなく、インターネットで調べられるものは学習センターに来て検索をしなくなったのではないか。この部分についてどのように検証しているか。

(市) まずは、学習情報収集コーナーの利用者数が大幅に減少した理由の1つに、市民端末の台数が減ったことがある。これまでは学習センターに2台あったものが1台となり、利用者数が減った。また、パソコンが普及し、自宅で検索できる人が増えたことがあると考えられる。

学習情報収集コーナーの利用者は、自宅にパソコンなどの端末を持たない人が利用するということがあり、学習センターで利用しながら検索方法のアドバイスなど、学習センターができるアドバイスができるため、その部分を検討していく。

(委員) 学校にインターネットが入ったとき、学習の方法として子ども達がパソコンに興味を持ち、本から興味を離れてしまうのではないかの考えがあったが、本の良さも見直されている。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2)平成30年度社会教育委員会議から選出する委員」について、事務局より説明。互選により、各委員を以下のとおり決定。

大和市文化創造拠点運営審議会委員 (任期2年:平成30年9月1日～)

・・・齋藤委員

「3)平成30年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より説明後、丸田委員より県社会教育委員連絡協議会理事会における説明をうけて、研修事業について補足説明。

研修会等参加者について互選により、以下のとおり決定。

(前回会議からの追加・修正等)

- ・社会教育委員連絡会議:大澤委員→丸田委員へ変更
- ・県社会教育委員連絡協議会地区研究会(茅ヶ崎市):水口委員・大澤委員
- ・県公民館連絡協議会第60回県公民館大会:齋藤委員・三好委員・尾辻委員
- ・県社会教育委員連絡協議会地区研究会(伊勢原市):今宮委員・尾辻委員

「4)家庭教育支援に関する事業」について、渋谷学習センター社会教育主事有資格者より説明。

(議長)説明に対し、質問等があればお願いしたい。

(委員)講座を実施するにあたり、集合時間などタイムスケジュールを確認したい。

(市)講座を10時から開始するためには、9時半から受付を開始する必要がある。その間に保育室へ子どもを預ける時間に10分～20分程

度かかるとみている。そのため、9時から準備が必要である。

30分で会場の準備と資料の準備が必要である。

(委員) 草柳会館へは駅からどのくらいの時間がかかるか。

(市) 歩いて10分から15分くらいかかる。利用者へは、駐車台数に限りがあるためできるだけ公共交通機関を利用するようチラシには記載している。

(委員) 先日、事務局の担当者に草柳会館へ来てもらい事業の説明をもらった。また、コミュニティセンターの指導員会議で各コミセンへポスターを配布してもらった。広報は掲載場所を見つけにくかったと思う。

(市) 広報やまとの7月1日号に掲載されているが、粹取りの関係もあり各館の事業の中に埋もれてしまい、少し見つけにくかったかもしれない。

(市) 今回配布した資料には、具体的な役割分担のみ記載しているため、この他に当日のスケジュールや作業内容を今後作成していく予定である。資料が整い次第、送付させていただく。

(議長) この役割分担でよいか。また、当日は講師以外ボランティアとなりますので、参加できる人で参加する方向となる。

(委員) 事前準備に負担がかかると大変なので、タイムスケジュールも指示も負担かからないように、口頭でも良いくらいである。

(委員) グループワークは長めにやった方が良いか。

(委員) そこはお任せする。指示いただければその通り行う。

(委員) グループで話し合った後に、グループごとに報告の時間を取るのであれば、話し合いの時間は少し短くなる。

(議長) 記録などはどうするか。

(市) 写真撮影など、学習センターの職員で実施する。

(議長) では、実施にあたり、役割分担はこの内容で承認して良いか。

(委員) 異議なし。

(議長) では続いてその他、事務局から報告をお願いします。

#### <その他>

最後になるが、既にご連絡させていただいているとおり、林間学習センターが昭和46年から開館していたが今月末で閉館となる。今後はリニューアルして大和市北部文化・スポーツ子育てセンターがオープンし、南側には公園が併設されている。長い名前であるため、愛称をつけることとなるが、次の広報やまと7月15日号でお知らせする予定である。

次回開催については、11月上旬で予定しているが、日程調整については後日、各委員の都合を確認させていただき、同じ時間(15時30分)からの開催で調整させていただく。

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・平成30年度第2回社会教育委員会議定例会（第30期）次第
- ・第30期大和市社会教育委員名簿
- ・点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画（教育委員会所管分）
- ・平成30年度社会教育委員会議から選出する委員（案）
- ・平成30年度社会教育委員に関する研修会等（案）
- ・家庭教育支援事業企画立案書